

研究課題 「EBV 関連疾患におけるウイルス変異・欠失に関する研究」の情報公開

1. 研究の対象

2003年4月1日から2022年12月31日までに、当院および共同研究施設における病理組織診断で以下の Epstein-Barr virus (EBV) 関連疾患と診断または疑われた方。ただし、久留米大学・金沢大学は1980年1月1日から2003年3月31日までの方も含まれます。

- ・バーキットリンパ腫、ホジキンリンパ腫-混合細胞型 (EBV 陽性)、EBV 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫、免疫不全関連リンパ増殖症、節外性 NK/T 細胞リンパ腫-鼻型、劇症型 NK 細胞性白血病、EBV 関連 T/NK リンパ増殖性疾患 (慢性活動性 EB ウイルス感染症、EBV 関連血球貪食性リンパ組織球症、種痘様水疱症、蚊刺過敏症)、その他 EBV 陽性リンパ腫。
- ・上咽頭がん、EBV 陽性胃がん、リンパ腫様肉芽腫。
- ・伝染性単核症、口腔毛状白板症。

2. 研究目的・方法・研究期間

EBV は悪性リンパ腫から胃がんまで様々な腫瘍性疾患 (がん) の原因となっています。近年、EBV 陽性の悪性リンパ腫患者の一部に変異した EBV が認められることがわかってきました。本研究では、EBV 関連患者さんの病理組織を用い、EBV の変異の頻度、変異の見られる領域の特徴、および変異の有無と予後・治療反応性等との関連を明らかにします。具体的には、診断した病理標本から DNA を抽出して EBV の変異とがん細胞に生じた遺伝子変異を解析します。研究期間は、実施承認日から2023年3月31日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病理診断を行った標本および電子カルテでの診療情報を使用します。病理組織からは、肉眼所見、病理所見、免疫染色の結果、病理標本を用いての DNA の抽出、DNA を用いてウイルスとがん細胞に生じた遺伝子変異の変異を解析します。電子カルテからは、年齢・性別・既往歴・臨床経過・採血結果・画像所見・生存期間・生死等の情報を収集します。診療情報の保管は、研究場所です、名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学で、連結可能匿名化した状態で管理し、連結化したデータは外付けハードディスクに保存し、鍵をかけたロッカーに保管します。

4. 外部への試料・情報の提供

所属機関外への資料・情報の提供はありません。本研究へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学医学系研究科 ウイルス学・教授・木村 宏
名古屋大学医学系研究科 病態外科学・教授・小寺泰弘
名古屋大学医学系研究科 血液・腫瘍内科・教授・清井 仁
名古屋大学医学系研究科 臓器病態診断学・教授・中村栄男
名古屋大学医学系研究科 小児科学・准教授・伊藤嘉規
名古屋大学医学部附属病院 ゲノム医療センター・病院講師・奥野友介
名古屋大学医学部附属病院 病理部・准教授・中黒匡人
愛知医科大学病院 病理診断科・助教・佐藤 啓
愛知県がんセンター中央病院 遺伝子病理診断部・医長・加藤省一
藤田医科大学 小児科・教授・吉川哲史
久留米大学医学部 病理学・教授 大島孝一
岡山大学医歯薬学総合研究科 特命教授 岩月啓氏
金沢大学医学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学・教授 吉崎智一
神戸市立医療センター中央市民病院・血液内科・医長 平本展大

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 ウイルス学
〒466-8560
愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
Tel: 052-744-2207 Fax: 052-744-2452

研究責任者/研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学・教授・木村 宏